

ひととひと ふれあい、つながる

いっぴく

2018 9 Vol. 249

JA京都市
事業だより

特集

地域に根差した 農業実践への取り組み



つながろう
つなげよう
その先へ

設立70周年 JA京都市



JAグループ京都は、京都マラソン2019を応援しています。

特集

地域に根差した 農業実践への取り組み

GAP II 農業生産工程管理とは

GAPとは「Good Agricultural Practice」の略称であり、農業において、食の安全性向上や環境の保全、農作業の事故防止などについて、農家が事前にリスクとなる要因を検討し、農業の生産工程の管理や改善に取り組みべきポイントを整理して実践・管理することです。

京都市内では、古くから京都の気候・風土に合った栽培方法で、消費者と共存しながら良質な野菜の生産が行われてきました。今後も、伝統的な栽培方法を継承し、消費者の皆さんの理解を得ながら、良質な野菜を作り続けていくためのポイントを整理し、当J Aが独自で点検項目として定めたものが「J A京都市版GAP」です。

なぜ今、J A京都市版GAPなのか

京都市の農業が魅力ある産業として発展するためには、消費者から信頼され安定的な販売を行い、社会的にも経済的にも持続性の高い農業を実践する事が重要です。そのためには、農業の適正使用や衛生管理等の生産管理状況を証明することが必要です。

農産物の生産管理状況を証明する仕組みとして、GAPが活用されていますが、国が進めるG・GAPやJ・GAPに取り組みするためには多額の費用が必要であり、個

人出荷の農業者にとっては負担が大きく、取り組みが難しくなっています。(G・GAP: 65~100万円、J・GAP: 30~40万円)

しかし、残留農薬やO-157の発生以降、消費者から食品の安全性が強く求められる中で、食品を扱う業者はその安全性を確保するため、東京オリンピックの食材調達にGAP認証の取得等が要求されているように、今後、産地や農家に対してGAP認証取得の要求が高まること予想されます。

J A京都市としては、管内農業者の殆どが、個人出荷や直売

目次 CONTENTS

特集

地域に根差した 農業実践への取り組み

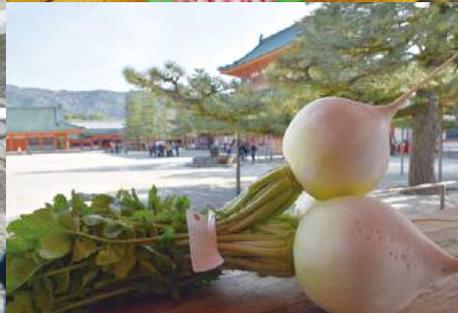
	2
通常総代会	4
地区別総代懇談会	9
はっぴいすまいる	11
新役員のご紹介	12
京のかわら版	14
業務推進部からのお知らせ 共済部からのお知らせ	18
ちょっといっぷく クロスワードパズル/行事予定	19
京のこんだて 月見団子	裏表紙



● 表紙の紹介

『シャインマスカット』
青空の下でエメラルド色に輝くマスカットの女王、シャインマスカット。2006年に品種登録され、年々人気が高まっています。
皮がパリッとしていて、種がなく皮ごと食べることができます。上品な甘みで果汁がたっぷり。一粒食べると止まらない!!

撮影場所 山科区



JA京都市版GAPの説明会を下記の通り開催しますので、ご参集下さい

日	場所	対象支部
9月18日(火)	上鳥羽支店	上鳥羽・吉祥院・久我・伏見
9月19日(水)	上賀茂支店	上賀茂・大宮・衣笠・朱雀野・修学院
9月20日(木)	嵯峨野支店	嵯峨野・松尾・桂・川岡・大枝
9月21日(金)	山科南部支店	山科南部・山科北部・醍醐
9月26日(水)	本店	西京極・七条・九条・西院

※各会場とも午後7時～午後8時30分頃予定



環境の保全

- 農薬・肥料の使用を見直すことによる、土壌、水質、大気汚染の低減、周辺住民の農業に対する理解

農産物の安全性・品質向上

- 適正な農薬の使用、異物・有害物質等の混入防止
- 農産物の衛生管理、作業手順の明確化による京都市にふさわしい農業の実践

経営改善・信頼確保

- 作業手順の明確化による経営改善
- 生産記録の情報開示による信頼確保

労働安全

- 生産者の健康維持、農薬や農業機械等による事故防止

GAPに取り組むメリット

であることを踏まえ、これらの農業者にも取り組めるJA京都独自のGAPを、公的機関である京都市と連携した制度として創設します。

このように世界的な潮流であるGAPに取り組むことで、管内で生産されている農産物の品質向上や環境負荷改善が進展するとともに、消費者の信頼がこれまで以上に得られるものと確

信しており、市内産野菜のブランド力がさらに引き上がっていくものと考えます。

現在のところ仮称ではありますが、JA京都市版GAPの取り組みを通じて管内農産物の販路を拡大し、所得向上に繋げてまいりたいと考えていますので、より多くの皆様の取り組みをお願い致します。



平成30年度 通常総代会を開催

元気な農業と活気溢れる豊かな地域作りに挑戦

6月28日、KBSホールに於いて、平成30年度通常総代会を開催しました。昨年度の事業報告及び本年度の事業計画等を上程し、全議案慎重に審議のうえ、すべての議案が可決承認されました。

組合長あこがし

昨年度を振り返ってみますと、日本経済も内外需でバランスが取れ、国内景気は緩やかな回復基調にあります。こうした中、金融市場では、日経平均株価もバブル崩壊後の最高値を更新するなど、株式市場は堅調であります。しかし、住宅ローンを中心とした市場金利は超低金利状態で推移しており、運用利回り低下による利ざやの縮小が一段と進み、当JAも厳しい収益圧迫を強いられました。

農業においても農業者の高齢化と後継者不足による正組合員の減少、耕作放棄や有害鳥獣による被害の増加など、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっております。農協改革が一層加速していますが、我々の使命は、農業を守り、農業者のために力を尽くし、都市農業の発展・地域の発展に貢献していくことにあります。今年度は出向く営農体制として、TAC事業も積極的に展開し、農家からのご意見を営農経済事業に活かしてまいります。



また、当JAは広域合併が進む中、その波に飲まれることなく、独立独歩で歴史を刻むことができ、本年めでたく70周年を迎えることができました。これもひとえに組合員皆様方の格別のご理解とご協力、そして、温かいご支援・ご指導の賜物と心から厚く御礼と感謝を申し上げます。

今後より一層、地域に必要とされるJAを目指すため「つながろう つなげよう その先へ」をキャッチフレーズに掲げ、役員員一丸となり、自己改革を実践し、農業を支え、更なる地域社会の発展に貢献し、元氣な農業と活気溢れる豊かな地域作りに挑戦してまいります。どうか皆様方のより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度の事業決算概要は次のとおり。

貯金

超低金利状態が常態化しつつある環境の中、農業と地域・利用者をつなぐ地域密着型金融機関として地域に根差した金融サービスに取り組みました。

貯金では、夏・冬に定期貯金キャンペーンを展開し、年度末残高は2377億円となりました。特に冬の定期貯金キャンペーンでは、京都府内産の農産物を使用した加工品を景品に使用し、農家の所得向上を図りました。

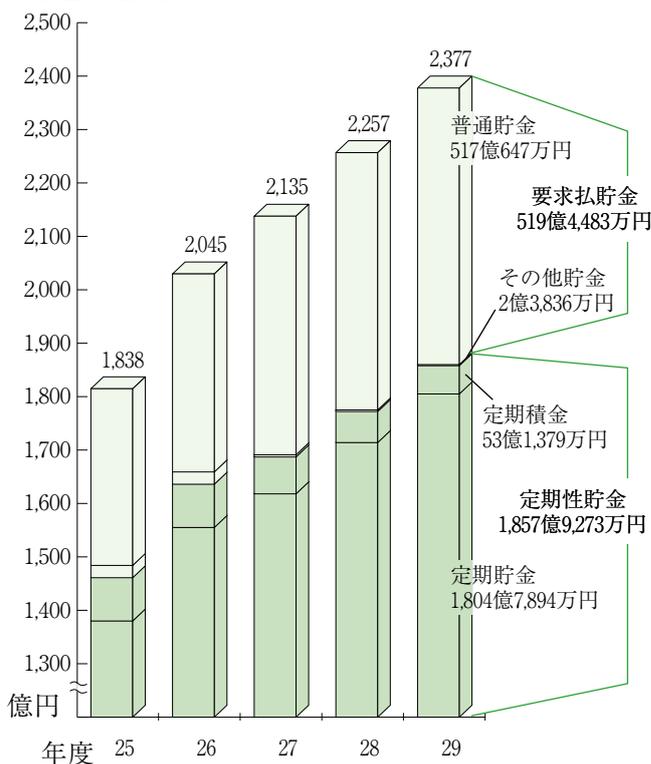
また、低コストかつ安定的な資金調達が可能な年金受給口座の獲得を重点推進項目とし、年金相談機能の拡充と推進強化を図った結果、2752件の受給口座を獲得し、390件の純増となりました。

貸出金

マイナス金利の長期化に伴う影響の中、農業を含む地域経済活性化に貢献するとともに、利用者の資金ニーズに応えるため、統一ローンを中心に積極的な推進を図りました。

住宅ローン及び小口ローンでは、キャンペーンを展開した結果、昨年度を大幅に上回る獲得件数となり、住宅ローンで1109件、小口ローンで118件の実績を挙げることでできました。

〈貯金の推移〉



また、農業生産に直結する資金需要に幅広く対応し、農家経営の安定化をサポートするため、農業経営資金の提案にも取り組みました。

貸貸事業用施設建築資金は、他金融機関との金利引下げ競争が過熱している中、顧客ニーズに適切に対応し、資金需要の掘り起こしを展開しました。

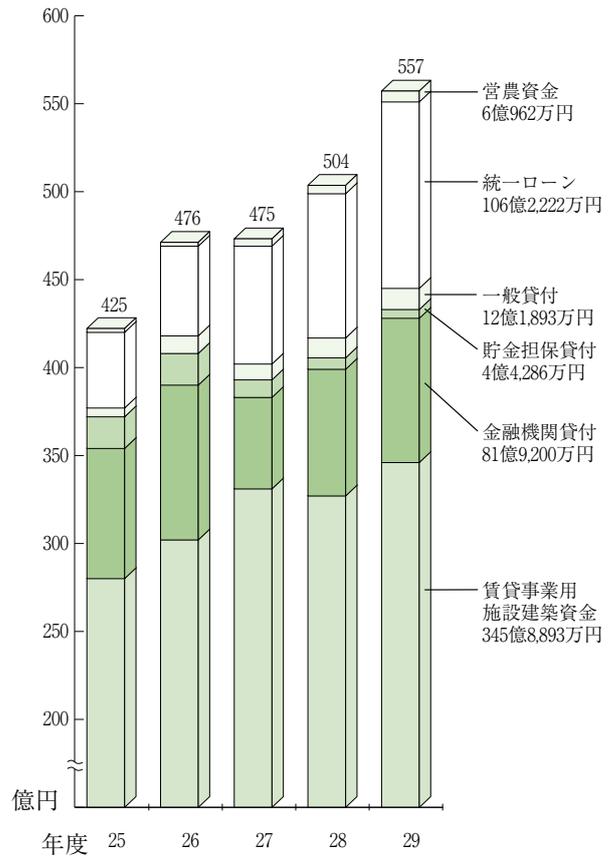
これらの取り組みを通じ、昨年度より52億8千万円増加し、年度末残高は556億7千万円となりました。

共 済

平成29年度は、JA共済の「ひと・いえ・くるまの総合保障」を通じて、地域を支える存在として、地域に密着した事業活動に取り組みました。

今年度は、従来の保障額方式の実績目標を廃止し、新たに推進ポイント方式の実績目標を導入しました。これにより、全ての共済種類を一定の基準で評価し、保障額に偏らず、地域性や利用者のニーズに即したバランスの良い保障提供に努めました。

〈貸出金の推移〉

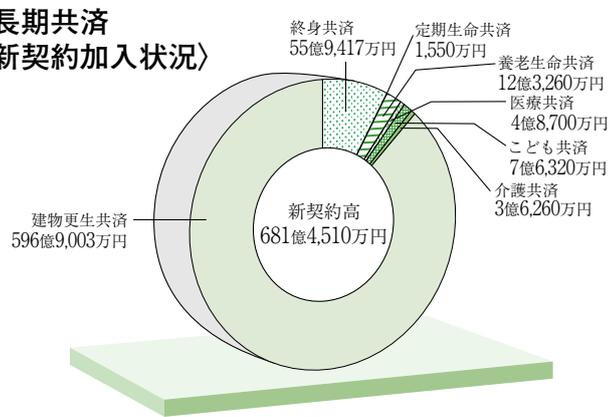


また、当JAの主力商品である建物更生共済の仕組みが約15年ぶりに大きく見直され、保障充実に配慮した普及推進に取り組んだ結果、大きく挙績することができました。これ以外の取組成果も加わり、各種目標を早期に達成することができました。

事務面では、全ての長期共済新契約申込みでペーパーレス手続きが可能となりました。これにより利用者および当JAの事務軽減が図れ、引受処理日数の短縮にもつながりました。加えて、キャッシュレス手続きも導入し、利用者の負荷軽減

だけでなく、不祥事の未然防止にも配慮した展開を促し、事業運営体制の強化を行いました。

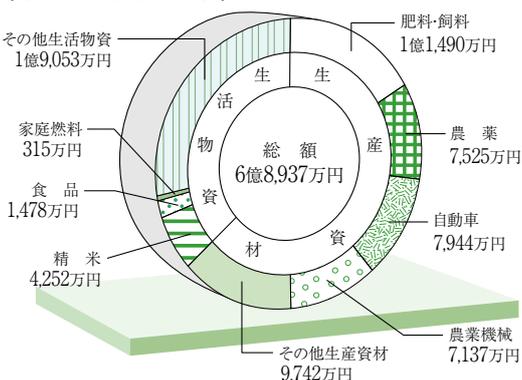
〈長期共済新契約加入状況〉



購 買

正組合員の農業所得増大に向け、全農や取引メーカー等と連携し、予約購買のスケールメリットを活かした大量仕入れによる低コスト化成肥料の商品提案等を行いました。また、鶏糞の一括購入や各店舗での共同購入を実施したほか、大容量除草剤のキャンペーンを実施するなど、組合員の農業経営に対する

〈購買品取扱実績〉



コスト削減に寄与する取り組みを展開しました。さらに、ゴアテックスレインスーツ特別キャンペーンを実施し、快適な農作業を提案するとともに、農機具大展示会やアグリDREAM京都2017では、ドローン等の最新農機による農業散布を実演しました。こうした取り組みを通じ、農作業省力化、生産性向上、農業所得向上に向けた提案を行いました。

かねてより要望の多かった農機の修理整備業務に対し、昨年度導入した修理サービスカーの増車に加え、経験豊富な農機整備士を増員し、ニーズに迅速に対応できる体制を整えました。

営農指導

当JAは安全・安心な農産物を持続的かつ安定的に供給し、地域農業を確立する一助となるよう、次のことに取り組みました。

○TAC・営農指導員が各種品評会や立毛共進会の審査補助や採種圃場の検見に参加し、営農指導の実践力向上を図りました。

○使用済ビニール類等の回収を行い、環境保全と美化に取り組みました。

○各支部・青壮年部を対象とした、肥料や農薬研修会を開催し、施肥や病害虫防除の情報提供に努めました。

○本店営農経済部署の専門窓口と倉庫を移設し、来店されやすい店舗づくりと窓口対応力の向上に努めました。



出資金

平成29年度は、年2回の定期貯金キャンペーンに加え、夏の感謝祭や親子まつりなど、地域活性化に資する活動を展開した結果、組合員数では1467名の増員、出資金では2億600万円の増加となりました。

組合員の加入においては、昨年度と同様に准組合員の増員が顕著でありました。近年、大幅に増加する准組合員に対して、JAを身近に感じてもらうためホームページの充実を図るとともに、SNSへの投稿や、全支店で「支店だより」を発行し、情報発信を通じた、関係強化を図りました。また、女性正組合員をはじめ、正組合員の増員を企図した複数正組合員制の展開も引き続き実践しました。

組合員の増員は、JAの組織基盤を強固にするとともに、経営に対する信認でもあります。JAを取り巻く環境がますます厳しくなる中で、これまでと変わらない歩みが続けるためには、拡大した組合員組織の強化が課題です。そのためには当J

Aが主催する各イベントへの参加募集を通じ、さらなる事業利用を促してまいります。また、広報誌等を通じた情報発信によって、組合への理解を深め、当該組織の結びつきを一層強固にしてまいります。

財務状況

非常に厳しい経営環境の中、各事業で堅実な実績伸張に努めました。経常利益金は昨年度より62百万円減益し、3億69百万円となりました。利用率奨励金の低下、貸付金の金利競争の影響を受け、信用事業では昨年度より62百万円減益、共済事業では27百万円減益となり、購買事業で37百万円増益となりました。また、事業管理費では28百万円増加しました。

この結果、当期剰余金は2億49百万円となり、各積立金取崩額を加算し、8億円を超える当期未処分剰余金を計上することができました。

当JAの安全性・健全性を示す自己資本比率は、昨年度比率より0.89ポイント減少し、

20.96%となりました。当該比率の分母に当たるリスクアセット資産が増加したことで、算出基準にあたるバーゼルⅢへの段階的対応により低下しました。固定資産においては、嵯峨野支店の新設や支店改修工事、業務機器の導入を図り、減価償却と差引きすると2億300万円の増加となりました。

これにより、固定比率は123ポイント低下し91.1%となりましたが、将来を見越した固定資産投資の経緯を示す結果となつていきます。それでも昨年度同様、設備投資への資金構成度の安全性は高水準を維持しています。



▷議長を務められた
安田茂総代(桂支部)

財務の状況

貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
1. 信用事業資産	254,198,513	1. 信用事業負債	244,814,706
(1) 現金	860,823	(1) 貯金	237,737,561
(2) 預金	190,231,136	(2) 借入金	6,500,000
(3) 有価証券	7,519,140	(3) その他の信用事業負債	577,145
(4) 貸出金	55,674,577	2. 共済事業負債	1,063,867
(5) その他の信用事業資産	92,312	3. 経済事業負債	41,716
(6) 貸倒引当金	△ 179,474	4. 雑負債	260,892
2. 共済事業資産	90,465	5. 諸引当金	1,032,653
3. 経済事業資産	102,069	6. 再評価に係る繰延税金負債	481,508
4. 雑資産	415,366	負債の部合計	247,695,342
5. 有形固定資産	3,301,436	1. 組合員資本	14,806,714
(1) 有形固定資産	3,299,438	(1) 出資	4,379,765
建物	2,041,809	(2) 利益剰余金	10,487,388
機械装置	23,512	利益準備金	3,830,000
土地	2,373,600	その他利益剰余金	6,657,388
建設仮勘定	5,000	特別積立金等	5,817,280
その他の有形固定資産	240,394	当期末処分剰余金	840,108
減価償却累計額	△ 1,384,877	(うち当期剰余金)	(248,934)
(2) 無形固定資産	1,998	(3) 処分未済持分	△ 60,439
6. 外部出資	5,636,254	2. 評価・換算差額等	1,359,269
7. 繰延税金資産	117,221	純資産の部合計	16,165,983
資産の部合計	263,861,325	負債及び純資産の部合計	263,861,325

※記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しており、そのため表中の合計が一致しないことがあります。

損益計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
1. 事業総利益	2,413,924	指導事業収入	3,066
信用事業収益	1,801,034	指導事業支出	17,249
信用事業費用	370,948	指導事業収支差額	△ 14,182
信用事業総利益	1,430,086	2. 事業管理費	2,144,021
共済事業収益	862,217	事業利益	269,904
共済事業費用	37,355	3. 事業外収益	99,459
共済事業総利益	824,862	4. 事業外費用	0
購買事業収益	784,488	経常利益	369,362
購買事業費用	618,612	5. 特別利益	-
購買事業総利益	165,876	6. 特別損失	25
販売事業収益	1,718	税引前当期利益	369,338
販売事業費用	197	法人税・住民税及び事業税	91,531
販売事業総利益	1,521	法人税等調整額	28,873
利用事業収益	2,893	法人税等合計	120,404
利用事業費用	5	当期剰余金	248,934
利用事業総利益	2,888	当期首繰越剰余金	304,374
宅地等供給事業収益	2,906	電算対策特別積立金取崩額	26,900
宅地等供給事業費用	33	施設整備充実積立金取崩額	244,900
宅地等供給事業総利益	2,873	協同組合運動推進資金積立金取崩額	15,000
		当期末処分剰余金	840,108

※記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しており、そのため表中の合計が一致しないことがあります。

剰余金処分

(単位：円)

科目	金額
1. 当期末処分剰余金	840,108,103
2. 剰余金処分額	482,872,943
(1) 利益準備金	80,000,000
(2) 任意積立金	310,000,000
電算対策特別積立金	30,000,000
施設整備充実積立金	100,000,000
協同組合運動推進資金積立金	30,000,000
経営安定化積立金	150,000,000
(3) 出資配当金	33,244,628
(4) 事業分量配当金	59,628,315
購買事業分量配当金	26,933,544
定期事業分量配当金	32,694,771
3. 次期繰越剰余金	357,235,160

(注) 1. 出資配当は年0.8%の割合です。

2. 事業の利用分量に対する配当の基準は次の通りです。

購買品供給高のうち、肥料・農薬・農業機械・施設資材に対し、8.8%の割合です。

定期貯金平均残高100万円以上に対し、0.03%の割合です。

3. 次期繰越剰余金には、営農指導、教育、生活文化改善の事業の費用に充てるための繰越額25,800千円が含まれています。

地区別総代懇談会

平成30年度通常総代会に先立ち、6月14・18・19日にかけて、地区別総代懇談会を開催し、延べ119名が出席されました。

総代懇談会でいただいた主な意見・質問及び回答は次の通りです。

Q 理事定数が34名に減ったが、迅速な意思決定を行う上では、まだ定数が多いのではないか。支部により組合員数に大きな差が生じている。各支部から理事1名の選出としているが、今後どう対応していくのか。

A 理事選出要件を見直し、総代会で承認されれば、支部から1名の選出となりま

す。しかし、組合員数に大きな格差があり、今後は支部単位ではなく、ブロック単位で選出することも検討していきます。

Q 自己改革を実践していく中で事業利益を確保・伸長させるためには、正組合員の協力が不可欠となるが、正組合員数は減少傾向を辿っている。一方で准組合員は増加している。今後、准組合員にも焦点

をあて、常に危機感を持って事業運営を行ってもらいたい。

A 事業利益の確保・伸長のためには、准組合員基盤を強化・拡大していくことも重要である

が、やはり、正組合員との信頼関係を更に強固なものにしていくことが大切です。その中で集まった資金の自主運用を基本に貸出金の増加に努め、さらなる事業伸長・事業利益増大に繋げていきます。

Q 近年JA離れが進んでいる中、正組合員がこれ以上減少しないように、また、組合員がもっとJAに関心を示して貰えるように情報公開の趣旨から機関誌以外に小冊子などを作成したりできないか。

A 情報公開についてはデイスクロージャー誌がある

が、それ以外についても検討していきます。

Q 本店の駐車場は近くにショッピングセンターやスーパーがあり、人通りも多く立地条件が良いのでそこを即売会や直売所として使用してはどうか。

A 今後、本店駐車場をもつと活用できるよう検討していきます。

Q JA京都市版GAPについて、4つの改革を実施する中で、理想に終わらせることなく圃場に向いたり、栽培状況を分析したりと積極的な展開を願う。今後の具体的な方針を示してもらいたい。

A 政府主導の農協改革が加速している中、我々はこの改革を未来に拓く自己改革と位置づけていきます。決して理想で終わらせることなく、組合員の農業所得増大はもとより、農協として京野菜をアピールし、消費者に安全・安心な農産物を提供できるように、JA京都市

版GAPに基づきお手伝いしていきます。現在案なので、詳細な方策については今後検討していきます。

Q JA京都市版GAPの認証を受ける手順について伺いたい。

A 当JAが設定している基準を生産者自らが点検して頂きます。提出された物を調査員（TAC職員等）が現地調査等により確認した後、行政や消費者団体等の外部委員で協議し認証します。認証後、シール等で消費者・市民に対して認証をアピールします。



Q GAPの認証は非常に困難である。認証に向けての意向を伺いたい。

A 国際基準のGAPは、本来オリンピッククへの供給や輸出を目的に設定されているため、厳しい基準となっており、個人出荷の生産者には、取り組みにくいものとなっています。そのため、比較的容易に取り組めるよう基準を見直し、J A京都市の独自GAPとして設定しています。

Q 国際基準のGAPで進めるのか、それとも京野菜のブランド性を高めるためのGAP認証なのか。

A 国際基準のGAPのように、個人出荷の生産者には取り組みにくい基準ではなく、比較的容易に取り組める基準で当JAの組合員に限定して認証します。これを宣伝する事で、他産地からの野菜とが区別でき、市内産野菜のブランド性を高める事に繋がれると考えています。

Q 自己改革案に、中核的担い手の育成とあるが、中核的担い手とはどういう意味か。

A 中核的担い手は、将来にわたって地域農業の発展に貢献していくもので、かつ、大きな意欲のあるものと定義しています。

Q 今年度から米の転作が自由となった。今後JAで米の買い取りはしてもらえるか。

A 買い取りの受付は行っていません。現在JAで再販売できないので、全農の買取りとなり全農を通じての販売となります。

Q 職員教育が急務であると感じている。何かにつけて職員の対応が遅いのか、連絡体制が不十分なのかわからないが、迅速に対応して欲しいし職員の育成も徹底して欲しい。

A 組合員や利用者信頼される職員を目指し、徹底した人材育成に注力しているところであり、了解いただきたい。連

絡体制についても再度確認したうえで、一層の事務確立を図ってまいります。

Q 支店の少人数の職場で半数近くの人事異動があった。業務運営に支障が生じ、農家にとっても新人等の経験の浅い職員だと非常に困るので、しっかりと育成してもらい職員の定着化に努めて欲しい。また、新人教育も大切であるが、支店職員を把握し、統括する立場にある支店長に対する教育・指導の強化が部下教育にも大きく影響することから、支店長の研修をどのようにしているのか伺いたい。更には、いくら知識があっても責任感がないと信用できないので、専門知識と併せて責任感ある職員育成をして欲しい。

A 新人については今後も研修等を行って育成に力を注ぎます。支店長等管理職についても研修は行っているが、今年度は更なるレベルアップを図りたいと考えており、外部講師ではなく、各部署から事務に精通した職員を講師とした実践的・実務的な研修会を開催し、スキルアップを目指しま

す。そして、新人・部下の手下となるような管理職の育成に努めていきます。250名ほどの人事異動については、経験年数や適材適所等を十分考慮したうえで行ってきたが、一部店舗において影響がでたのも事実として受け止めている。今後人材育成を図って行く中で配慮に努めます。

Q 今回、賦課金の議案がないが。

A 賦課金徴収に関しては、4月の理事会で承認を受け廃止しました。理由としては、経費充当の対象がなかったり、対象があってもその経費でまかない切れるものでなかったりと、賦課金徴収の意味合いが薄く、また、組合員の経費負担にも配慮した結果であります。





はっぴいすまいる

わが家のアイドルご紹介

大宮支部

十塚 ^{こうた}幸汰くん (4才2ヶ月)

^{しょうた}翔太くん (1才5ヶ月)

いっぱい遊んで笑って
どんどん大きくなあれ♪

絵本を読むのが好きな兄の幸汰と、兄の姿を真似て上手に絵本のページをめくることができるようになってきた弟の翔太です。

互いに思い通りにいかず、ぶつかり合って泣いてしまうこともあるけれど、2人が大声で笑いながら追いかっこをしたり、すべり台で遊ぶ姿はとて楽しそうで、見ていて微笑ましくなります。

これからもいっぱい遊んでいっぱい笑って、時にはケンカもして、たくさんの思い出を一緒に作っていきましょう♪



ニコニコ笑顔の
翔太くんと幸汰くん

お父さん 大己さん
お母さん 祐子さん

自慢のペットご紹介

うにくんといくらくんのご主人

徳田 初枝さん (桂支部)

犬のうにくんと猫のいくらくんは兄弟のように仲が良く、人懐っこい性格です。

うにくんは、家の畑で採れたさつまいもが大好物。いくらくんは、キャットフードの「ちゅーる」のまぐろが大好物です。



うにくん

犬種 ミニチュアダックス



いくらくん

猫種 ミックス

組合員と組合発展のため尽くします

理事 34名 (敬称略・順序不同)



副組合長理事
尾崎 進
(深 草)



副組合長理事
大橋 宗治
(上鳥羽)



代表理事組合長
戸田 秀司
(上賀茂)



常務理事
清水 克彦
(学 経)



常務理事
阪田 利典
(学 経)



代表理事専務
柗本 忠弘
(学 経)



十塚 元信
(大 宮)



岡本 芳雄
(衣 笠)



岩崎 正彦
(松ヶ崎)



西野 明直
(下 鴨)



清水 正次
(修学院)



山田 耕司
(嵯 峨)



大藤 孝郎
(西 院)



宮農経済副部長
加納 靖彦
(太 秦)



神部 良一
(花 園)



宮農経済部長
佐伯 昌和
(朱雀野)



近藤 進
(桂)



小嶋 寿太郎
(松 尾)



信用共済副部長
寺尾 忠勝
(西京極)



大八木 豊和
(梅 津)



川勝 聡
(嵯峨北部)



木崎 俊和
(吉祥院)



今井 一博
(九条)



高山 昇
(七条)



総務管理部会長
山本 義治
(大枝)



信用共済部会長
川本 義隆
(川岡)



今井 澄子
(女性部)



総務管理副部会長
寺田 健三
(山科南部)



市川 正三
(山科北部)



荻野 稔
(久我)



澤井 隆寧
(醍醐)



永井 浩二
(青壮年部)



渡邊 幸浩
(青壮年部)



樹下 ちえ子
(女性部)

監事9名 (敬称略・順序不同)



吉田 弘
(北上中京区)



奥村 陽
(左京区)



常勤監事
西浦 美智代
(学経)



副代表監事
出雲 薫
(西京区)



代表監事
宇佐美 郁夫
(山科区)



吉川 肇
(員外監事)



奥田 猛
(伏見区)



中村 弘和
(南下京区)



松尾 史弘
(右京区)

つながろう つなげよう その先へ 設立70周年

夏の 大感謝祭

JA京都市 SUMMER FESTA 2018



7月15日、夏の感謝祭を梅小路公園で開催しました。当日は最高気温38度を超える猛暑日となりましたが、2万8千人を超える来場者でにぎわいました。

イベントブースでは、京の新鮮野菜即売・京の野菜品評会・京グルメフェア・子供に大人気のJAキッズスクールや農機具の展示コーナーなど盛りだくさんの内容となりました。また、メインステージでは、ラジオの公開録音や公開生放送が行われ、生産者が特産品の紹介で出演し、会場も盛り上がりました。

さらに今年は夏の感謝祭に合わせてインターネット交流サイト（SNS）「LINE@」と画像共有アプリ「インスタグラム」の公式アカウントを開設しました。当日は初の試みとしてLINE@を活用し、スタンプを集めた方に“ほんまもん京野菜の詰め合わせ”などが当たるスタンプラリーを行いました。

公式アカウントを開設しました♪

●LINE@×JA京都市
検索ID:@ja_kyotoshi



●Instagram×JA京都市
アカウント名:@ja_kyotoshi

たくさんのご来場、ご協力おおきにどす!!
LINE@とインスタのお友達になって
おくれやす!



京のかわら版

JA京都市管内の出来事やイベントなどを
お知らせいたします。

営農経済部

夏季農産物品評会



7月9日、夏季農産物品評会を北野天満宮で開催しました。前日までの記録的豪雨の影響で出品数は昨年より2割ほど少ない898点の出品となりました。

組合員が丹精込めて栽培された野菜ばかりで審査員も甲乙つけがたく、審査長の矢澤進京都大学名誉教授は「悪天候の中でも出品物のできは良かった。素晴らしい技術だと感じた」と話されました。

審査後の即売会は大勢の来場客で大繁盛となりました。

特別受賞者

京都府知事賞・トウガラシ、水澤隆司(大宮)、京都市長賞・ナス、



▲矢澤進審査長を中心に審査を行う

加納敬三(太秦)、京都市産業観光局長賞・タマネギ、樋口豪宏(大宮)、京都市農業委員会会長賞・ジャガイモ、樋口豪宏(大宮)、京都市農業振興協議会長賞・トマト、池田徳治(上賀茂)、

京文化担い手奨励賞・ナス、加納健介(太秦)、平安神宮賞・詰合せ、山田哲也(大宮)、北野天満宮賞・シソ、樋口豪宏(大宮)



▲立派な旬の野菜を求めてたくさんの来場客が訪れた



▲特別賞に輝いた農産物

営農経済部

農機具大展示会



6月16日、農機具大展示会を本店で行い、約150名が来場されました。

今年は当JA設立70周年を迎える節目の年にあたり、大特価の軽トラ・トラクター・田植え機・コンバイン等がラインナップされました。また、肥料・農業経営資金融資・聞こえの相談・資材コーナーが設けられ、会場は大盛況となりました。

参加者は「多数の農機具や資

青壮年部

立毛共進会



青壮年部は農作物の生育状況や栽培管理を審査する立毛共進会を毎年行っています。これは技術研鑽を図り、経営安定と京野菜の生産振興に資する事を目的に行われています。今年度は全体的に病害虫の発生も例年よりは少ない印象でした。

今年度は、ハウスキュウリ水澤正容さん(大宮)、ハウストマト中島典明さん(修学院)、

材が並び楽しかった。できるなら展示してある全てのものを揃えて農業をしてみたい」と話されました。



▲説明を受ける来場者

露地キュウリ北村直人さん(深草)、露地トマト林忠司さん(山科南部)、露地ナス山口克己さん(川岡)が市長賞となりました。



▲厳正に審査する審査員

北区 北区農林産物共進会



7月3日、農家相互の技術向上を目的とする京都市北区農林産物共進会がMKタクシー上賀茂営業所で開催されました。今年度は過去最多の563点の手塩に掛けて作られた農産物が出品されました。

審査長の矢澤進京都大学名誉教授は「新しい栽培方法に取り組む姿勢を高く評価したい」と講評されました。

審査後、出品物を即売し、多くの来場者がお目当ての野菜を購入され、大盛況となりました。



▲慎重に出品物を審査

太秦 持寄り品評会・即売会



7月4日、太秦農事研究会が主催する夏野菜持寄り品評会・即売会が嵯峨野支店で開催されました。

この品評会は生産者相互の技術向上を兼ねて、消費拡大を図ることを目的に毎年開催されています。

即売会では、販売開始前から多くのお客様が訪れ、用意された野菜はすぐに完売となりました。



▲即売会に集まる来場者

来場者は「新鮮で立派な野菜を購入できてうれしい。今後もこういった場を設けて欲しい」と話されました。

上賀茂 JAを知ってもらいたい



6月13・20・27日、上賀茂支店は朝採れ野菜の即売会を行いました。この即売会は店舗が移転し4年半経ったが、もっと地域の方に同支店と農業に対する理解を深めてもらうことを目的に行いました。

今回は同支部役員に賀茂なすをはじめトマト・キュウリ・トウガラシ・ジャガイモ・タマネギなどの野菜を提供していただきました。

来場者は「JAらしいイベントなので今後も続けて欲しい」と話され、同支部池田徳治支部長は「野菜を提供するので今後も支店のアピールを頼む」と話されました。



▲支店駐車場で即売会を行いました

大宮 トラック市で地域と交流



6月26日、大宮支部は同支店でトラック市を開催されました。この催しは同支部十塚元信支部長の「丹精込めて栽培した野菜を地域の方に広く知って頂きたい」との思いに組合員が賛同され、実施されました。

同支部管内は、今も朝採れ野菜をトラックに積み込んだ振り売りと呼ばれる販売を行っておられます。当日は315点の野菜を販売され、約1時間で完売となりました。

来場者から「新鮮な野菜を身近に買い求める事が出来るのは嬉しい。定期的開催して欲しい」と大好評でした。



▲新鮮な野菜を買い求める来場者

レジャミズ

親子で暑い日を満喫



この親子遠足を楽しみにしている」と話され、自然を満喫されました。

8月1日、フレッシュミズは親子遠足でびわ湖バレイへ行かれ、75名が参加されました。

琵琶湖を見下ろしながら、揺れる橋や丸太渡りなどを行う『スカイウォーカー』や、森に張り巡らされたロープを滑車につられて滑る『ジップライン』のツアーに参加されました。

参加者は「童心に戻って楽しめた。子供とじっくり遊ぶことが出来てよかった。毎年



▲琵琶湖の絶景を楽しむ

大枝

児童がJAを訪問



想がありました。また、同伴していた保護者は「来店したことがなかったが、今回の説明で地域に近い存在だと感じた」と話されました。

6月29日、大枝支店に京都市立大枝小学校2年生4名が職場体験実習で来店しました。

職場体験では同支店の長克洋支店長が、JAの業務内容などの説明や肥料や資材の紹介を行いました。

体験後、児童からは「肥料倉庫の見学が珍しくて楽しかった」「たくさんJAのことを教えてくれて良かった」などの感



▲肥料って重たくて持つのが難しいんだ～!

大宮

売上金を寄付する



れたと察します。一日も早い復興を願います」と述べ、松本和加子区長へ義援金を手渡されました。

大宮支部は、夏の感謝祭で野菜の即売とフリーマーケットを行い、その売上金を「平成30年7月豪雨災害義援金」として、京都市北区役所を通じ日本赤十字社に寄付されました。同支部は、社会貢献活動にも積極的に取り組まれています。

同支部十塚元信支部長が7月27日、北区役所を訪れ「多くの農業関係者も甚大な被害に遭わ



▲義援金を手渡す十塚支部長（左）

第8回「JA京都市グリーンクラブ」ゴルフコンペ 信楽カントリー倶楽部 田代コース

- 開催日 平成30年11月6日(火)
- 参加費 2,000円(お申しいただいた店舗へお支払下さい。)
- プレーフィー 9,890円(ゴルフ場にて各自ご精算下さい。)(昼食含む) (65歳以上の方につきましては、身分証明書を提示すると、ゴルフ場利用料が減免もしくは免除されます。)
- ◆参加資格
当JAで公的年金を受け取られている方・受け取りを予約されている方(55歳以上)
- ◆募集人数 56名
(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)
- ◆申込み締切 平成30年10月12日(金)
各店舗へお申し込み下さい。

- プレー規則・方法
・JGA(日本ゴルフ協会)プレー規則による
・6インチプレイスルールを採用
・ハンディキャップはダブルベリア方式
- お申し込みは4名様単位でお願いします。
4名様に満たない場合は、当組合にて組み分けを行いますので予めご了承ください。

募金活動について

当JAでは、各店頭で西日本豪雨支援募金箱を設置し、募金活動を行っております。皆様からの暖かいお気持ちは農産物・関係施設の被害状況に応じ、関係団体へ支援します。



「特定生産緑地」制度を創設(平成30年4月施行)

ポイント 生産緑地指定から30年経過する前に「特定生産緑地の指定」を受ける必要があります

新たに創設された「特定生産緑地」指定制度は、生産緑地指定から30年経過する生産緑地の買取申出の開始時期を10年延長することができる制度です(再延長可能です)。生産緑地指定から30年が経過する前に「特定生産緑地の指定」を受けた場合、固定資産税及び都市計画税は農地課税(現行制度と同様)が継続し、次回の相続発生時に相続税納税猶予制度を適用できます。

ご注意ください!

特定生産緑地の指定を受けなかった場合、生産緑地指定から30年経過後の固定資産税及び都市計画税は、5年間の激変緩和措置を経て、段階的に宅地並課税に移行します。特定7市^(※)の場合、相続税納税猶予は現世代のみ(次世代には適用不可)となります。

※京都市、向日市、長岡京市、宇治市、城陽市、八幡市、亀岡市

共済部からのお知らせ

平成30年度 共済推進大会を開催

7月5日、ロームシアター京都で共済推進大会を開催しました。共済事業に対する日頃の感謝と御礼、更なる拡大を目的に毎年開催しています。当日は強い雨風にもかかわらず、約3,000人の来場者でにぎわいました。

第一部の式典では、戸田秀司組合長が今年70周年を迎える当JAを永きにわたり支えていただいた組合員、地域住民、利用者の皆様に対して感謝の念を述べました。また、高額共済加入者38



▲共済推進大会式典

人が選ばれ、代表者に感謝状を贈呈しました。

式典後、昨年行った「響け!歌の祭典」で最優秀賞を受賞された修学院支部の大谷仁美さんが熱唱されました。

第二部の森昌子さんのコンサートでは「越冬つばめ」などの代表曲が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

来場者は「強い雨の中、開催されるか心配だったが、とても楽しく過ごせた」と話されました。



▲セーラー服で登場の森昌子さんに会場は大盛り上がり



▲「かもめが翔んだ日」を熱唱された大谷仁美さん

クロスワードパズル

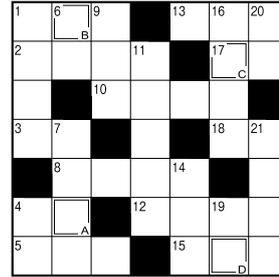
二重マスの文字を A~D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

タテのカギ

- ① 電流を流したり切ったりする装置
- ④ 深谷、下仁田、九条といえ
- ⑥ 膝より下、くるぶしより上
- ⑦ 野山を耕して田畑にすること
- ⑨ 鉄棒や跳び箱を使って行う——体操
- ⑪ 木を育てたり切り出したり加工したりする仕事
- ⑭ 体の90%以上が水分だという、水にすむ生き物
- ⑯ 年下の女さようだい
- ⑲ 田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
- ⑳ あ、おいしそう。ひと——ちょうだい!
- ㉑ カイコの繭から作ります

ヨコのカギ

- ① 十五夜に飾る植物
- ② 米の収穫作業の一つ
- ③ エレベーターの表示では「B」
- ④ よく飼われているペットなんだニャ
- ⑤ 石原裕次郎と牧村旬子のデュエット曲「——の恋の物語」
- ⑧ ——足りて礼節を知る
- ⑩ 和風の携帯入れ。黄門様のドラマでおなじみです
- ⑫ 恋愛運や金運などを見てもらいます
- ⑬ カラオケ店で難くない人もいます
- ⑮ 招く人がホストなら、招かれる人は
- ⑰ 月の模様はウサギがこれをついているように見えるとか
- ⑱ 佐渡島に保護センターがある鳥



出題○ニコリ

【解き方】
普通のクロスワードの要領で全部を解いてください。次にA→Dの二重マスの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。



「サヤインゲン」の答え

正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをプレゼント!

プレゼントの応募方法

- (1) 郵便はがきに、①クイズの答え○住所○氏名○年齢○電話番号○ご意見・ご感想]をお書きください。
- (2) 〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24
JA京都市 本店総務部「いっぷく」係まで、お送りください。
※応募いただきました皆さまの個人情報は、当選者のプレゼント発送のために利用させていただきます。

おたより募集中!

おたよりや、イラスト(絵手紙)を募集中です。クイズと同じあて先まで、お送りください。お待ちしております。

締め切りは
9月末日



解答は「いっぷく」11月号

▶ 9・10月の行事予定

9月

- 4日(火) 法律個人相談会【本店】
- 8日(土) 住宅ローン相談会【KTV五条展示場】
- 9日(日) ベジベジキッズ植付体験
- 14日(金) 巡回健診【醍醐】
- 15日(土) 全農みのるマルシェ【JR大阪駅】
- 18~21・26日(火~金・水)
JA京都市版GAP説明会 ※詳しくはP.3を御覧下さい
- 20日(木) 資産管理移動相談会【山科北部】
- 26日(水) 資産管理移動相談会【上鳥羽】
- 29日(土) 体育祭【横大路グラウンド】

10月

- 10日・11日(水・木)
グリーンクラブ グラウンド・ゴルフ大会(1泊2日)
【ピラテスト今津、ひばりグラウンド・ゴルフ場】
- 11日(木) 巡回健診【大宮】

- 17日(水) 巡回健診【大枝】
- 18日(木) 法律個人相談会【本店】
- 20日(土) 住宅ローン相談会【KTV五条展示場】
- 22日(月) 巡回健診【山科南部】
- 25日(木) グラウンド・ゴルフ府下大会【サンガタウン】
- 25日(木) 資産管理移動相談会【嵯峨野】

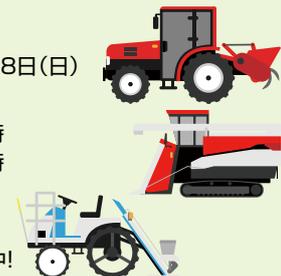
農機具センターの休日対応のお知らせ

下記の期間は、休まず営業致します。

【営業日】
9月8日(土)から11月18日(日)

【営業時間】
平日:午前9時~午後5時
土日:午前9時~午後4時

【TEL】
(075)391-4193
修理サービスカー運行中!



※予定ですので日程が変更となる場合があります



季節の野菜－カボチャー



特にカロテンが豊富で栄養価がトップクラス。追熟させた方がさらに栄養価が高くなり、味わいもよくなります。

月見団子

カボチャ餡入り

●材料（15個分）

〈カボチャ餡〉

カボチャ…………… 100g
 砂糖…………… 大さじ1
 バター…………… 5g
 塩…………… 少々

〈団子の生地〉

白玉粉…………… 100g
 絹豆腐（水切りはしなくてよい）…………… 100g
 砂糖…………… 大さじ1強

●作り方

- ①カボチャを角切りにして皮をとり、お皿に並べ、ラップをしてレンジで3分温める。
- ②温めたカボチャをつぶし、砂糖・バター・塩を入れて混ぜ、15等分に分けて丸める。
- ③ボウルに白玉粉・絹豆腐・砂糖を入れて混ぜ、15等分に分ける。
- ④③の生地を薄くのばし、②のカボチャ餡を入れて丸める。
- ⑤沸騰したお湯に④を入れ、浮いてきてから2分程茹でる。茹であがったら氷水に入れ冷ます。
- ⑥水気を切りお皿に盛り付けたら完成。

職員募集のご案内

JA京都市では、平成31年度の新採用職員を募集します。
 誠実で向上心のある方のご応募をお待ちしています。



1.採用予定人員: 若干名

2.職種: 信用、共済、営農、購買業務、その他農業協同組合業務全般

3.応募資格

平成6年4月2日以降に生まれた方で、平成31年3月末までに4年制大学を卒業見込みの方

4.募集期間

平成30年9月20日(木) 必着 応募書類を郵送または持参にて受付

5.応募書類

①履歴書 ②卒業見込書 ③成績証明書

6.採用試験

筆記試験・適正検査及び1次面接試験日:平成30年9月25日(火)
 ※2次面接は10月上旬に予定

詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24番地
 京都市農業協同組合 総務部総務課
 TEL075-314-0898 FAX075-313-2643

